

施策6 施設の整備・充実

学校施設の整備・充実や適正な維持管理により、良好な教育環境を確保します。

主管課：学校施設課

担当課：庶務課、学校施設課、学務課

「学校施設の将来ビジョン」の策定

■背景と目的

「江東区立小中学校の改築・改修に関する基本的な考え方」（平成24年）

策定から12年が経過し、見直しの必要がありました。

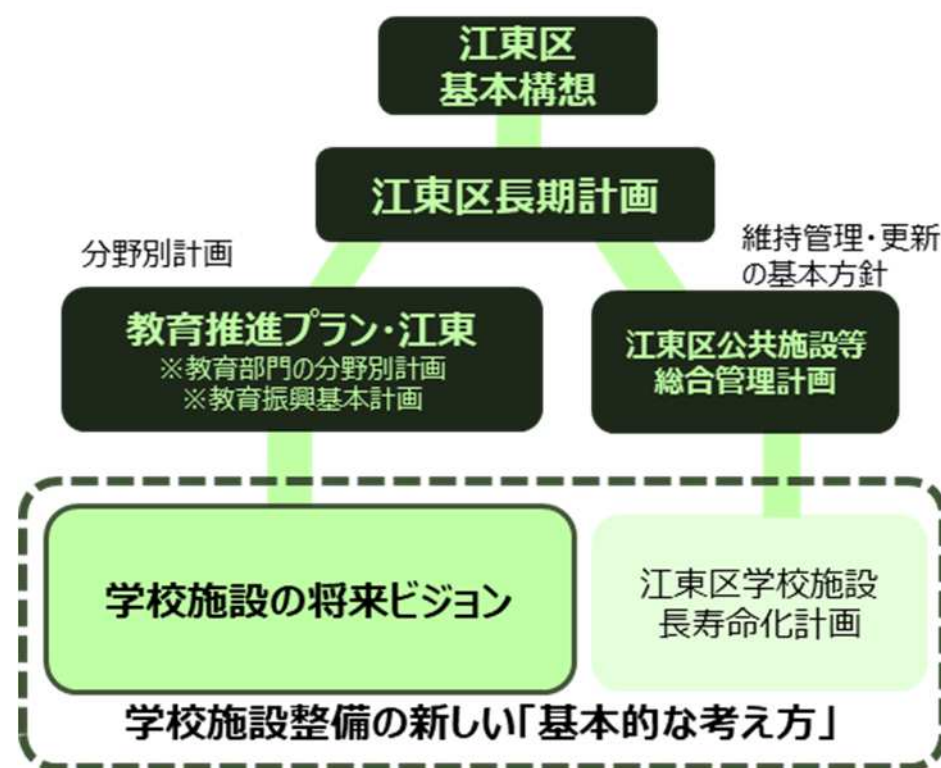
社会、教育の変化に対応して、**学校施設に求められる機能や空間のありか**
たについて定め、今後の施設整備（改築・改修）の指針とします。

■計画の位置づけ

計画の役割明確化のため、老朽化対策等の保全計画に関する部分は「長寿命化計画」、施設整備の将来像に関する部分は「学校施設の将来ビジョン」とし、両計画を合わせて学校施設整備の新しい「基本的な考え方」とする。

■計画期間

おおむね10年程度とし、教育推進プランの改定や、学校施設を取り巻く環境変化を見据えながら必要に応じて見直していきます。



テーマ3 環境

6 施設の整備・充実 (1 2)学校施設の整備

■基本方針

江東区の目指す姿を実現するために学校施設に求められる役割として、6つの視点＝基本方針を定めます。

※ 1～3：学校に求められる特有の機能

4～6：公共施設（学校を含む）に求められる施設機能



テーマ3 環境

6 施設の整備・充実 (12) 学校施設の整備

江東区立深川小学校校舎その他改修工事

【校舎棟外壁】



【きッズクラブ・地域集会室棟新築(外観)】



【子ども家庭支援センター棟内装】



【きッズクラブ・地域集会室棟新築(内部)】



テーマ3 環境

6 施設の整備・充実 (12) 学校施設の整備

江東区立深川第六中学校校舎その他改修工事

【第一グラウンド】



【プール更衣室(外壁)】



【トイレ(増設)】



【第二グラウンド】



【屋内運動場更衣室(増設)】



江東区立第二南砂中学校校舎その他改修工事

【調理室①】



【図書室】



【調理室②】



【防球ネット】



テーマ3 環境

6 施設の整備・充実 (12) 学校施設の整備

スクールバス

現在、東雲小学校の大規模改修工事に伴い、南砂仮校舎への通学のためスクールバスを運行しています。

バス停(プラウド前)
乗車



南砂仮校舎
下車



バス停(芳香苑前)
乗車



南砂仮校舎
下車



脱炭素としての木材利用促進

内装等への木材利用を進め、都市部での木材活用により、森林の健全育成やCO2の木材固定に寄与します。

昇降口の木質化



普通教室の木質化



樹種を体感
出来るベンチ



図書室の木質化



学校プールの在り方見直しに係る検討について

区立学校プールによる水泳指導の課題

- (1) 猛暑日の増加に伴う熱中症対策により、計画的な水泳指導が困難になりつつある。
- (2) 児童・生徒、保護者のプライバシー意識が高まっている。
- (3) 学校改築に際しては、校舎の屋上へのプール設置が、建設費増の要因の一つとなっている。
- (4) プールの維持管理を教員が担っており、大きな負担となっている。

既存屋外プールでの対応困難事例が増加するとともに、他自治体においては民間屋内プールを活用するなどの動きも出てきている。

令和7年3月に策定された「学校施設の将来ビジョン」策定過程において、上記の課題解決にあたっては、施設整備のハード面のみならず、水泳指導の在り方や代替措置などソフト面も含めた対応が必要となることから、今後の検討課題としたところである。

一方で、学校施設の改築については、江東区長期計画に基づき順次進めているため、今後の学校プールの在り方に係る検討を早急に行い、方向性を打ち出していく必要がある。

今後の方向性について

「学校施設の将来ビジョン」の実現にあたっては、計画段階、工事中の配慮、整備方法による考慮すべき点など5つの視点で学校施設の整備を進めていきます。

1. 改築で実現すること、改修で実現すること
2. 工事中の教育環境確保
3. 教育とハードの連携
4. 多様な声の反映
5. コストの管理

1. 改築で実現すること、改修で実現すること

改築と改修の違い

	改築工事	改修工事 (大規模改修など)
内容	既存校舎を解体して新たな校舎を建設する。	校舎をより長く使うため、改築までに一定のサイクルで内外装や設備の更新を行う。
実施時期	旧耐震は65年を目途に行う。 新耐震基準の建築物は長寿命化を図り85年を目途に行う。	築25年目、45年目、65年目を目途に行う。
特徴	建物の配置の変更が可能。 (※既存校舎活用の場合を除く。) 規模やレイアウトの変更など自由度が高い。	既存躯体はそのままのため配置の変更やレイアウトの変更は難しい。

テーマ3 環境

6 施設の整備・充実 (1 2) 学校施設の整備

大規模改修での実現例 1



テーマ3 環境

6 施設の整備・充実 (1 2) 学校施設の整備

大規模改修での実現例2



2. 工事中の教育環境確保

仮校舎移転（改築、大規模改修）

工事期間中は大島、南砂にある仮校舎に一時移転し、学校運営を行う方式。

敷地内プレハブ校舎建設（大規模改修）

敷地内に工事期間中のプレハブ校舎を建設し、一時仮移転して使用することで既存校舎の工事を行う方式。

既存校舎を利用しながら工事（改築）

旧校舎を使用しながら、校庭部分に新校舎を建設して完成、移転後に旧校舎を解体して校庭を整備する方式。

3. 教育とハードの連携

有明西学園の「木」に関わる教育実践

4年生：図画工作 （木材業界の方をゲストに）椅子の作り方

5年生：社会、総合的な学習の時間 林業の学習

：桧原村 自然体験教室

8年生：校舎に使われている柱の製造元の工場見学と植樹（長野県長和町）

そのほか、設計者による講演なども行っている。



木質構造の校舎をきっかけとして、校舎への愛着、校舎が教材となることで様々な学習に広がる、木材を通して人や施設とつながるといった教育を実践している。

4. 多様な声の反映

学校改築ワークショップのプログラム例

	テーマ	内容の例
第1回	『〇〇学校の「いま」と「将来」について』	・現在の学校の誇らしいところ、お気に入りのところ、残したいところ ・現在の学校の校舎や敷地で変えた方がいいと感じているところ ・新しい学校に望むこと ※冒頭に「WSって何？」の説明
第2回	『新しい〇〇学校の使い方について』	・こんな普通教室があったらいいな ・こんなオープンスペースがあったらいいな ・こんな職員室があったらいいな ・その他、こんな〇〇があったらいいな ・配置計画案の具体的なイメージに対する率直な感想・意見 ※冒頭に第1回WSのおさらい
※	事例見学（最近の改築校）	

4. 多様な声の反映

学校改築ワークショップのプログラム例

	テーマ	内容の例
第3回	『新しい〇〇学校のより具体的なイメージについて』	～配置計画やブロックプランなどの説明をもとに ・ブロックプランの具体的なイメージに対する率直な感想・意見 ・もっとこんな感じになればいいな、こんなことってできる？ ※冒頭に第2回WSのおさらい
第4回	『よりよい〇〇学校の改築に向けて(WSとりまとめ)』	～配置計画や平面プランなどの説明をもとに ・平面プランの具体的なイメージに対する率直な感想・意見 ・新しい〇〇学校がより良い学校になるために心がけたいこと ※冒頭に第1回から第3回WSのおさらい

5. コストの管理

昨今の物価高騰や人手不足、建設業の働き方改革など総合的な要因により、建設コストはこれまでになく高騰しています。

また、ランニングコストにおいても以前の学校にはなかったエレベーターや空調機器、自動制御をおこなう設備機器の増加や高機能化により、保守管理費用が増加しています。



- 建設時のコストを縮減する。
- 日々の維持管理コストや将来の改修工事を想定した造りにする。
- 施設の仕様について必要に応じて見直しを行う。